

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月8日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東  
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部长 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月5日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,318	△0.2	1,215	△15.4	1,143	△17.8	729	△24.4
2023年3月期	7,335	3.5	1,437	△3.1	1,390	△2.2	965	6.3

(注) 包括利益 2024年3月期 2,042百万円(94.0%) 2023年3月期 1,052百万円(△3.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	38.62	38.40	9.4	8.7	16.6
2023年3月期	46.76	46.53	14.4	12.0	19.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,468	8,525	58.9	474.22
2023年3月期	11,893	6,984	58.7	357.57

(参考) 自己資本 2024年3月期 8,525百万円 2023年3月期 6,984百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	479	45	△195	2,939
2023年3月期	△11	△2	△492	2,605

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	58	6.4	0.9
2024年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50	62	9.1	0.8
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	3.50	3.50		7.9	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	△0.4	590	△9.4	560	△4.0	375	△1.9	21.30
通期	7,300	△0.2	1,200	△1.3	1,140	△0.3	760	4.1	44.11

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	19,084,226株	2023年3月期	21,184,226株
② 期末自己株式数	2024年3月期	1,106,329株	2023年3月期	1,652,529株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	18,900,504株	2023年3月期	20,640,776株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,023	△15.8	607	△23.1	648	△18.7	629	△20.2
2023年3月期	1,216	50.3	790	109.7	797	94.5	788	115.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	33.31		33.12					
2023年3月期	38.21		38.02					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	6,553		4,772		72.8	265.49		
2023年3月期	5,909		4,652		78.7	238.22		

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,772百万円 2023年3月期 4,652百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の指定感染症5類への移行などにより経済社会活動の制限が緩和されて緩やかな景気回復傾向が維持されているものの、足許では日銀のマイナス金利政策解除による消費マインドの一時的な下押しなどで足踏み状態となり、また、世界的な金融引き締め政策の長期化・中国景気減速などの対外要因による景気下振れリスクも懸念され、これらの諸要因を背景として景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいては、①将来に向けた事業会社各社の成長基盤構築・整備、②新規収益基盤の創出、③事業会社経営人材の拡充と育成、及び④収益基盤の質の多様性による長期成長基盤の充実、以上の4点を期初に重点課題として掲げてこれらの課題に積極的に取り組んでまいりました。こうした取り組みの結果、当連結会計年度の連結売上高7,318百万円(前期比0.2%減)、連結営業利益1,215百万円(前期比15.4%減)、連結経常利益1,143百万円(前期比17.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益729百万円(前期比24.4%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下の通りであります。

出版事業におきましては、書籍販売が期を通じて総じて底堅く推移し、電子書籍売上も堅調に推移したものの、Webメディアにおける広告収入の減少や原価の上昇により、売上高4,238百万円(前期比4.3%減)、セグメント利益(営業利益)893百万円(前期比25.0%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、営業体制の強化やマネジメント人材の育成などにより既存クライアント中心に引き合いが増加し、売上高996百万円(前期比4.5%増)、セグメント利益(営業利益)82百万円(前期比24.6%増)と増収増益になりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、ゲームやアプリの自社サービス・受託開発事業、及びコンテンツ事業が特に上半期において堅調に推移した結果、売上高827百万円(前期比2.1%増)となりましたが、先行投資としての採用コストや育成コストの増加などにより、セグメント利益(営業利益)95百万円(前期比16.8%減)となりました。

教育・人材事業におきましては、IT人材研修事業及び医療関連人材紹介事業共に期を通じて総じて堅調に推移し、先行投資としての採用コスト増加があったものの、売上高899百万円(前期比3.2%増)、セグメント利益(営業利益)215百万円(前期比0.8%減)となりました。

投資運用事業におきましては、安定的な投資運用量増加に伴う配当金収入の増加や一部有価証券売却による一時収入などにより、売上高354百万円(前期比32.1%増)、セグメント利益(営業利益)253百万円(前期比37.0%増)と増収増益になりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末は、前連結会計年度末に比べて総資産が2,574百万円増加、負債が1,033百万円増加いたしました。純資産につきましては、その他有価証券評価差額金1,312百万円増加、利益剰余金671百万円増加、及び資本剰余金515百万円減少の結果、8,525百万円になりました。純資産から新株予約権及び非支配株主持分を引いた自己資本は8,525百万円となり、自己資本比率は58.9%と前連結会計年度末58.7%と比べて0.2%増加いたしました。

主な増減は以下の通りです。

(流動資産)2,683百万円増加

営業投資有価証券2,444百万円増加、現金及び預金334百万円増加、並びに受取手形、売掛金及び契約資産110百万円減少によるものです。

(固定資産)108百万円減少

投資有価証券38百万円減少、土地29百万円減少、及び建物及び構築物(純額)19百万円減少によるものです。

(流動負債)40百万円減少

流動負債その他102百万円増加、賞与引当金45百万円減少、1年内償還予定の社債45百万円減少、及び未払法人税等20百万円減少によるものです。

(固定負債)1,074百万円増加

繰延税金負債580百万円増加、長期借入金319百万円増加、及び社債145百万円増加によるものです。

(純資産)1,541百万円増加

営業投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金1,312百万円増加、親会社株主に帰属する当期純利益計上を主因とした利益剰余金671百万円増加、及び自己株式の消却による資本剰余金515百万円減少によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位 百万円)

項 目	前連結会計年度	当連結会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11	479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492	△195
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△500	334
現金及び現金同等物の期首残高	3,106	2,605
現金及び現金同等物の期末残高	2,605	2,939

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ334百万円(12.8%)増加し、2,939百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は479百万円(前連結会計年度比491百万円増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,127百万円、及び法人税等の還付額162百万円であり、支出の主な内訳は、営業投資有価証券の増加額555百万円及び法人税等の支払額383百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は45百万円(前連結会計年度比48百万円増)となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入68百万円であり、支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出35百万円でありま

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は195百万円(前連結会計年度比60.3%減)となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入650百万円、及び社債の発行による収入294百万円であり、支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出463百万円、長期借入金の返済による支出268百万円であります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気回復傾向が日銀のマイナス金利政策解除などにより足踏み状態となり、また、世界的な金融引き締め政策の長期化・中国景気減速・中東情勢緊迫化などの対外要因による景気下振れリスクも懸念され、これらの諸要因を背景として景気の先行きは予断を許さない状況が当面続くものと認識しております。

このような情勢の中で、当社グループは、次期の重点課題として、将来に向けた事業会社各社の成長基盤構築・整備、新規収益基盤の創出、事業会社経営人材の拡充と育成、及び収益基盤の質の多様性による長期成長基盤の充実を重点課題として引き続き取り組むことにより、2025年3月期通期連結業績につきましては、連結売上高7,300百万円、連結営業利益1,200百万円、連結経常利益1,140百万円、親会社株主に帰属する当期純利益760百万円を予想しております。

なお、本業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき、上記内外経済情勢・景気動向への認識に加え各事業に関するリスク要因などを総合的に織り込んで作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在ほぼ日本国内に限定されており、また、外国人株主比率が比較的低いため、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する予定であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,645	2,979
受取手形、売掛金及び契約資産	1,881	1,771
営業投資有価証券	4,338	6,782
商品及び製品	553	600
仕掛品	158	191
その他	319	256
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,897	12,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	800	779
減価償却累計額	△451	△449
建物及び構築物（純額）	349	329
土地	1,089	1,059
その他	253	269
減価償却累計額	△204	△222
その他（純額）	48	46
有形固定資産合計	1,486	1,436
無形固定資産		
その他	36	43
無形固定資産合計	36	43
投資その他の資産		
投資有価証券	189	150
長期貸付金	21	20
敷金及び保証金	39	33
繰延税金資産	103	87
その他	123	120
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	472	408
固定資産合計	1,996	1,887
資産合計	11,893	14,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	500	500
1年内償還予定の社債	200	155
短期借入金	1,924	1,906
未払法人税等	154	133
賞与引当金	137	92
役員賞与引当金	48	33
その他	902	1,005
流動負債合計	3,866	3,826
固定負債		
社債	275	420
長期借入金	180	499
役員退職慰労引当金	116	119
退職給付に係る負債	392	423
繰延税金負債	46	627
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	24	20
固定負債合計	1,042	2,117
負債合計	4,909	5,943
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,246	730
利益剰余金	3,958	4,630
自己株式	△369	△295
株主資本合計	6,370	6,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	597	1,909
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	613	1,926
純資産合計	6,984	8,525
負債純資産合計	11,893	14,468

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,335	7,318
売上原価	3,473	3,583
売上総利益	3,862	3,734
販売費及び一般管理費	2,425	2,518
営業利益	1,437	1,215
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	7	63
古紙売却収入	0	0
受取損害賠償金	13	3
保険金収入	-	6
その他	1	3
営業外収益合計	24	79
営業外費用		
支払利息	11	13
社債発行費	-	5
支払保証料	1	1
為替差損	54	92
投資有価証券評価損	-	33
その他	3	4
営業外費用合計	70	151
経常利益	1,390	1,143



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
投資有価証券清算益	-	7
特別利益合計	-	7
特別損失		
固定資産売却損	-	4
固定資産除却損	0	0
減損損失	4	18
特別損失合計	4	23
税金等調整前当期純利益	1,386	1,127
法人税、住民税及び事業税	425	364
法人税等調整額	△4	33
法人税等合計	421	397
当期純利益	965	729
親会社株主に帰属する当期純利益	965	729

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	965	729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	1,312
その他の包括利益合計	87	1,312
包括利益	1,052	2,042
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,052	2,042
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括利益累計 額合計	
当期首残高	1,534	1,752	3,036	△414	5,908	509	16	525	6,434
当期変動額									
剰余金の配当			△43		△43				△43
親会社株主に帰属する 当期純利益			965		965				965
自己株式の取得				△460	△460				△460
自己株式の処分					-				-
自己株式の消却		△506		506	-				-
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						87	-	87	87
当期変動額合計	-	△506	922	45	461	87	-	87	549
当期末残高	1,534	1,246	3,958	△369	6,370	597	16	613	6,984

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,534	1,246	3,958	△369	6,370	597	16	613	6,984
当期変動額									
剰余金の配当			△58		△58				△58
親会社株主に帰属する当期純利益			729		729				729
自己株式の取得				△463	△463				△463
自己株式の処分		2		18	20				20
自己株式の消却		△517		517	-				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,312	-	1,312	1,312
当期変動額合計	-	△515	671	73	229	1,312	-	1,312	1,541
当期末残高	1,534	730	4,630	△295	6,599	1,909	16	1,926	8,525

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,386	1,127
減価償却費	55	51
長期前払費用償却額	0	-
減損損失	4	18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	△45
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	48	△15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	30
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	33
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	△63
投資有価証券清算損益 (△は益)	-	△7
固定資産売却損益 (△は益)	-	4
固定資産除却損	0	0
為替差損益 (△は益)	36	62
社債発行費	-	5
受取利息及び受取配当金	△0	△0
受取損害賠償金	△13	△3
保険金収入	-	△6
支払利息	11	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△160	110
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18	△79
仕入債務の増減額 (△は減少)	102	0
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△701	△555
前受金の増減額 (△は減少)	7	17
前払費用の増減額 (△は増加)	14	△10
未収入金の増減額 (△は増加)	△164	△81
未払金の増減額 (△は減少)	△24	73
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56	△17
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1	1
その他	13	36
小計	539	704
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△8	△14
損害賠償金の受取額	13	3
保険金の受取額	-	6
法人税等の支払額	△558	△383
法人税等の還付額	1	162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11	479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11	△20
有形固定資産の売却による収入	-	32
無形固定資産の取得による支出	△17	△35
投資有価証券の取得による支出	△13	△12
投資有価証券の売却による収入	37	68
投資有価証券の清算による収入	-	7
長期貸付金の回収による収入	1	1
敷金及び保証金の差入による支出	△0	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	6
預り保証金の返還による支出	-	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	45
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△35	△147
長期借入れによる収入	400	650
長期借入金の返済による支出	△221	△268
社債の発行による収入	-	294
社債の償還による支出	△130	△200
リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の取得による支出	△460	△463
配当金の支払額	△43	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492	△195
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△500	334
現金及び現金同等物の期首残高	3,106	2,605
現金及び現金同等物の期末残高	2,605	2,939

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別の事業子会社から構成されており、各事業子会社は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業子会社を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「出版事業」、「コーポレートサービス事業」、「ソフトウェア・ネットワーク事業」、「教育・人材事業」及び「投資運用事業」の5つを報告セグメントとしております。

## (2) 報告セグメント別の事業内容

報告セグメント別の事業内容は、下記のとおりであります。

事業区分	主な事業内容
出版事業	IT・ビジネス・デザイン・カルチャー関連等一般書籍・海外翻訳書籍・電子書籍の発行・販売、書籍等直販サイト運営、Webマガジン運営・Web広告媒体提供等Webメディア事業、IT技術者向けイベント事業
コーポレートサービス事業	コンテンツマーケティング支援事業（マーケティングコンサルティング、Webコンテンツ制作及びオウンドメディア構築、マーケティングオートメーションの導入及び運用、ブランドローカライズ等）
ソフトウェア・ネットワーク事業	Webサービス企画・開発・運営、ソーシャルゲーム・スマートフォンアプリ開発
教育・人材事業	医療業界関連転職支援・求人サイト運営、IT人材教育・研修
投資運用事業	有価証券投資、不動産賃貸

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネットワーク	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,430	954	810	871	—	7,067	—	7,067
その他の収益	—	—	—	—	268	268	—	268
外部顧客に対する売上高	4,430	954	810	871	268	7,335	—	7,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	12	31	—	—	80	△80	—
計	4,467	966	841	871	268	7,416	△80	7,335
セグメント利益	1,191	65	114	217	185	1,774	△337	1,437
セグメント資産	3,484	449	321	497	4,738	9,490	2,403	11,893
その他の項目								
減価償却費	19	3	9	2	1	35	19	55
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7	1	6	0	10	26	2	28
減損損失	4	—	—	—	—	4	—	4

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額△337百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去75百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△413百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。
  - セグメント資産の調整額2,403百万円には、本社管理部門に対する債権の相殺消去△3,178百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産5,581百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
  - 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2百万円は、当社管理部門の設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネットワーク	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,238	996	827	899	—	6,963	—	6,963
その他の収益	—	—	—	—	354	354	—	354
外部顧客に対する売上高	4,238	996	827	899	354	7,318	—	7,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	4	26	0	—	76	△76	—
計	4,284	1,000	854	899	354	7,394	△76	7,318
セグメント利益	893	82	95	215	253	1,540	△324	1,215
セグメント資産	3,586	586	373	554	7,115	12,216	2,251	14,468
その他の項目								
減価償却費	16	4	7	2	2	33	18	51
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12	5	34	2	—	54	5	59
減損損失	—	—	18	—	—	18	—	18

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額△324百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去80百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△405百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。
  - セグメント資産の調整額2,251百万円には、本社管理部門に対する債権の相殺消去△4,007百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産6,259百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
  - 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5百万円は、当社管理部門の設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産合計の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産合計の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)トーハン	747	出版

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	357.57円	474.22円
1株当たり当期純利益	46.76円	38.62円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	46.53円	38.40円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	965	729
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	965	729
普通株式の期中平均株式数(株)	20,640,776	18,900,504
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	100,724	110,143
(うち事後交付型株式報酬による普通株式(株))	(100,724)	(110,143)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	6,984	8,525
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
(うち非支配株主持分(百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	6,984	8,525
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	19,531,697	17,977,897

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。